

事務事業名		大吉田地区農地整備事業(経営体育成型)負担金		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総 計 画 体 系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	土地改良G	課長名	細木浩之
	施策名	(34)農業の振興		担当者名	菅澤直樹	電話番号	0854-40-1053
	目的 対 象	市内の農家	意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。		(内線)	2402
	基本事業名	(097)農業基盤の整備・保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 業名 項 目 中事業 中事業 0 5 5 5 3 2 業名	土地改良事業 経営体育成基盤整備事業 負担金	
目的 対 象	担い手農家をはじめとする農家	意 図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上 する。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H25 年度 ~ R2 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
<ul style="list-style-type: none"> ■事業名: 農業競争力強化農地整備事業 ■地区名: 雲南市吉田町大吉田地内 ■工 種: ほ場整備工事 ■経 過【採択: H27】 ①H25~H26 地形図作成、概略設計 土地改良法手続き ②H27...実施設計・換地原案作成 ③H28...区画整理 ④H29...区画整理 埋蔵文化財調査(現地) ⑤H30...区画整理 埋蔵文化財調査(内部整理) ⑥R元 ...補完工事 ⑦R2 ...区画整理、補完工事、確定測量 ⑧R3 ...補完工事、換地処分

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)				
	<ul style="list-style-type: none"> ■県と関係機関、受益者との協議・調整 ■負担金の支払 	<ul style="list-style-type: none"> ■県と関係機関、受益者との協議・調整 ■負担金の支払 				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	協議回数	回	20	12	7	6
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	受益農地	ア 地区内受益面積	ha	26.0	26.0	26.4	26.4
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	区画整理工事により 営農条件改善に繋がる	ア 地区内農地整備率	%	72.3	92.3	92.3	100.0
		イ 市内ほ場整備率	%			71.6	72.5
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
<ul style="list-style-type: none"> ■R元年度県事業費: 96,500千円 (※公共: 過疎債、非公共: 合併特例債) [事業費内訳] 事業費(公共) 56,500千円(一般・補正分) 事業費(非公共) 40,000千円(一般) ■R元負担金額: 12,650千円 [市負担(公共、非公共): 事業費の10%] 負担額 9,650千円 [地元負担(非公共): 7.5%] 負担額 3,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> 財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円 人件費 正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円 					
			12,600	8,700	9,400	2,900
			7	95	250	100
			12,607	8,795	12,650	4,500
			1	1	1	
			200	200	200	
			815	866	848	
			13,422	9,661	13,498	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H26年度より中山間地域では、10ha以上の取組が可能となり、事業実施要件が緩和された。近年、採択要件の他に、米の生産コストのさらなる低減、高収益作物への転作等が図られないと採択が難しい状況である。	なし。	事業制度のハードルが年々上がり、取り組む事が厳しい。

事務事業名	大吉田地区農地整備事業(経営体育成型)負担金	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 県営事業負担金である。県・関係受益者の調整をすることで、よりスムーズな事業進行に寄与することはできる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 事業廃止は、農業意欲の衰退や耕作放棄地の増加に繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 県営事業負担金である。農業基盤整備に併せ、法人設立ができる。類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県営事業負担金であり、削減の余地はない。国への採択申請段階から費用対効果を十分精査され、事業採択されている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県・地元との調整を行う必要があり、削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 事業実施に伴い、関係受益者の負担金も必要である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	負担金事業であることから、事業に直接携わるわけではないが、県と関係受益者との協議調整を行う事業である。事業を順調に進めるためには、担当職員数を増加する等の必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。																								